



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織
佐賀県ユニセフ協会通信(No. 114) uniwish41号
佐賀県佐賀市水ヶ江四丁目2番2号 (2023年1月)
(電話・FAX) 0952-28-2077
(業務時間) 月・火・木・金 10:00~15:00
E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp
ホームページ <http://www.saga-unicef.jp/>
Facebook <http://www.facebook.com/unicef.saga>



2023年、世界の子どもたちを取り巻く状況は？ 終わりの見えない“紛争” 支援の必要な子ども達！

シリア緊急募金

紛争開始から11年。
平和を知らない**600万人**の子どもたち



©UNICEF/UN0276568/Souleiman

中東のシリアでは紛争が開始してから11年を迎え、近年の歴史の中で最も長引いた紛争の1つとなりました。紛争開始以来、あまりにも多くの子どもたちが多くの犠牲を強いられ、子ども時代を奪われています。この10年間で600万人ちかい子どもが生まれ、紛争の最中、平和や故郷を知らずに育っています。

シリア国内の子どもの半数は学校に通えず、昨年だけでも精神的苦痛を抱える子どもの数は倍増したと報告されています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によって人々の生活はさらに悪化し、シリア国内では80%近くが貧困に陥っています。またシリア周辺国には、今も250万人のシリア人の子どもが難民として暮らしています。

2022年2月に激化したウクライナ危機、11年以上にわたって戦闘が続くシリア、情勢不安に加え地震災害が絶えないアフガニスタン。
世界の20を超える国々で、中規模または大規模な紛争が進行していると言われています。
今、紛争地域に暮らす子どもは、**5人に1人**。
過去最多の4億2,600万人にものぼっています。

**子どもが、子どもらしく生きるために
紛争は、おとなたちが始めるもの。
しかし最も犠牲を強いられるのは、
いつも子どもたちです。**

5人に1人

ウクライナ



© UNICEF/UN0755359/Filippov
ブチャで、キャンドルの明かりを使って宿題をする11歳のティモフェイさん。
(ウクライナ、2022年11月撮影)

【2023年1月24日キウ／ジュネーブ／ニューヨーク発】
国連の「教育の国際デー」にあたる本日、ユニセフはウクライナで続いている紛争により500万人以上の子どもの教育が妨げられている、と警鐘を鳴らしました。

イエメン



2015年3月に中東の最貧国イエメンで激化した紛争は現在まで続いており、世界でも例を見ないほど大規模かつ深刻な人道危機となっています。40万人の子ども達が重度の急性栄養不良に苦しんでいます。



【2022年8月15日カブール（アフガニスタン）発】
ユニセフは、アフガニスタンにおいてこの一年間、女の子が中等教育から遠ざけられていることで、アフガニスタンの経済に5億米ドルに上る損失が生じているとの新しい分析を発表しました。

アフガニスタン



アフガニスタンでは今年、国民の97%が貧困に陥り、5歳未満児の2人にひとりが命にかかわる急性栄養不良になると予測されています。

紛争下の子どもを取り巻く状況は残念ながら年を追っても改善しておらず、1989年に子どもの権利条約が採択されて以降、紛争下にある国の数は今、最多となっています。

加えて近年は新型コロナウイルス感染症の流行など予測できなかった危機により、子どもたちはさらなる命の危険にさらされており、家族を失ったり日常を奪われたりするリスクも増えています。多様な人道危機によって、子ども時代を失っている子どもたち。ユニセフは、いかなる緊急事態下においても、支援物資や心のケア、教育の機会の提供などを通じて、すべての子どもの命と権利を守り、子どもたちが未来を築いていけるための支援活動を行っています。

パキスタン水害被害(国土の1/3水没)

パキスタン

大規模洪水で子ども340万人が被災

【2022年8月29日イスラマバード(パキスタン)／ジュネーブ 発】

モンスーンの時期にあるパキスタンでは、ここ数週間にわたり、100年来の記録を更新する降水量となり、過去30年の平均降水量の5倍以上の量の雨がパキスタン南部に降り続けました。このため、パキスタンの4州のうち3つの州（シンド州、バルチスタン州、パンジャブ州）で大規模な鉄砲水や浸水が発生しています。

パキスタン国土の3分の1が水没し、死者は1,678人を超えており全人口の約15%に当たる3300万人以上が被災しています。この洪水により340万人の子どもを含む640万人が深刻な影響を受けています。

また、約20万戸の家屋が全壊し、45万戸が被害を受け、また、約1万8,000の学校が損壊しました。70万頭以上の家畜が死亡し、200万エーカーの作物が失われ、3,000km以上の道路が被害を受け、さらに145カ所の橋が喪失もしくは現在安全に渡れる状態ではありません。洪水による死者は1,000人を超え、死者数は増え続けています。



● UNICEF/UN0691098/Sami Malik
バルチスタン州・Naseerabad地区の村が洪水に遭い、荷物を持って安全な地域に移動する子ども。
(パキスタン、2022年8月18日撮影)



ユニセフの緊急支援

<保健分野>



ユニセフは、命を守るための医療機器、必須医薬品、ワクチン、輸送のための資材を提供し、避難している人々に届けています。ワクチンを運ぶコールドチェーンの状況評価を進め、コレラとポリオの予防接種がすでに4,000人以上の子どもたちに行われました。

<水と衛生分野>

【被害が大きかった地域】



バルチスタン州とシンド州では、最大で30%の給水施設が被害を受け、安全な飲料水を手に入れることができなくなっています。ユニセフはまた、損壊した給水場の修復や、石けんや衛生物資の配布を計画しています。

<子どもの保護分野>



子どもたちは、破損した建物、洪水による溺死、ヘビなど、洪水に関連するさまざまな新たな危険にさらされています。ユニセフは、政府によるコミュニティを基盤とした対応策を支援し、特にメンタルヘルスに関する支援を提供しています。

洪水発生から4カ月超 400万人近くの子どもが依然、汚れた 水のそばで生活

【2023年1月9日イスラマバード発】

パキスタンで国家非常事態が宣言されてから4カ月以上が経過してもなお、最大400万人の子どもたちが洪水によって汚染され、よどんだ水の近くで生活し、彼らの生存と健康的な生活が脅かされている、とユニセフ（国連児童基金）は本日警鐘を鳴らしました。



● UNICEF/UN0742531/
バルチスタン州の国内避難民キャンプの中で、重度の急性栄養不良と診断された1歳のアウェイスちゃん。
(パキスタン、2022年11月撮影)



● UNICEF/UN0761223/Butt
シンド州の自宅前で、ユニセフから受け取った毛布に包まり、身を寄せ合って暖を取る家族。(パキスタン2023年1月4日撮影)



○ 8月31日・9月7日（水）神埼市ドリームパーク
（空組：30人、風組25人）
テーマ：「やってみようボランティア」
〈神埼小学校 理科室〉



○ 9月5日（月）佐賀市立鍋島小学校ハートフル委員会
募金贈呈 〈鍋島小学校校長室〉



○ 9月15日（木）コープさが生活協同組合役員研修会
参加者：30人 〈マルターレ創世〉
「世界の子ども達の現状とユニセフの活動について」

○ 9月21日（水）SDG s 絵画展 応募作品 835点の審査会
審査員：井上信宏先生、森和幸先生
〈佐賀市立図書館 多目的室〉



○ 9月28日（火）小城高等学校2年生 4人 募金贈呈
【SDG s 目標3】“アフリカの子ども達に薬を、”
「アフリカの子ども達の飢餓・死亡率などの現状説明」〈小城高校〉



○ 9月29日（木）（株）明治産業様 社会貢献としてユニセフ募金贈呈
内容：SDG s 目標達成状況とウクライナ紛争の状況説明
〈福岡市中央区薬院明治産業様社屋〉



○ 10月4日（火）～9日（日）第6回 SDG s 絵で伝えよう「私たちの地球」を守る絵画展
〈佐賀県庁 県民ホール〉 【詳細はP5に掲載】
*10月9日（日）表彰式&SDG s ミニ研修

○ 10月6日（月）佐賀立城南中学校 2年生 出前授業「親子ふれあい活動」
講話：「世界の子ども達とユニセフ」
～やってみようボランティア～
対象：中学2年生と保護者 教諭 190人〈城南中学校体育館〉



○ 10月14日（火）アクティブ・ラーナー育成プログラム研修会14：00～15：30
内容：「ユニセフと世界の子ども達」
対象：教育行政職員 研修会 19人
〈佐賀西高等学校〉

○ 10月30日（日）2022 さが国際フェスタ in 武雄 11:00～16:00
ユニセフ・ブース出店で参加（ユニセフ活動紹介）
出店内容：ユニセフパネル展示 〈武雄市：まちなか広場〉
【紛争下の子ども達、自然災害の中の子ども達など】
【SDG s 広報・缶バッジづくり・SDG s 輪投げ・SDG s スマートボール等】



○ 11月17日（月）武雄市立武内小学校 6年生 平和学習 出前授業 30人
内容：「紛争で苦しむ子ども達」
～ウクライナの状況について～



○ 11月24日（木）柳川市立矢ヶ部小学校 人権学習 出前講座 10人
内容：「子どもの人権について」
「ハンドインハンド募金活動についての事前学習」



○ 11月27日（日）「第1回 未来をひらくSDG s フェア」コープさが生協と共催
ユニセフ出展内容：SDG s 絵画展憂愁作品、ウクライナ紛争の動画
SDGs缶バッジづくり、SDGs輪投げ、SDGsスマートボール



○ 11月28日（月）武雄市立西川登小学校 人権学習 出前講座
内容：「世界の子ども達とユニセフ」～人権について考えよう～
対象：全校児童 66人



- 11月29日（火）太良町立多良中学校 3年生 出前授業「英語」での国際協力授業
内容：「ユニセフ活動と国際協力」 Beyond Borders
～自分にできることを考えよう～
対象：中学3年生 30人



- 12月1日（木）佐賀市立昭栄中学校 生徒会 から募金贈呈

- 12月3日（土）～12月30日（金） 第44回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド 募金活動 【詳細はP6～7掲載】
*2022年度は、3年ぶりに対面での募金活動を実施 <11店舗にて実施>
*12/3 ゆめタウン店 12/4 イオン佐賀店・スーパービバホーム、ゆめマート、フレスポ鳥栖店
12/11 イオン佐賀大和店・ホームワイド佐賀店、コープ新栄店
12/18 佐賀玉屋店、モラージュ佐賀店、12/25 ララベル鹿島店



- 12月9日（火）白石町立有明東小学校 人権教室 出前授業 8：20～9：00
全校児童 117人 <各教室でオンライン授業>
テーマ：世界の子どもたちとユニセフ～人権について考えよう～

- 12月16日（金）武雄市立東川登小学校 募金贈呈式
生活ボランティア委員会からの募金贈呈 <校長室>



- 12月19日（月）佐賀市立東与賀小学校 募金贈呈式
にこにこスマイル委員会から募金贈呈
8：50～9：10 <校長室>



- 12月20日（火）弘堂国際学園&CODO観光専門学校 募金贈呈 事務所訪問
代表者：ネパール出身等の留学生6人、引率の先生2人
ミニ研修：募金で支援する物資について



ご支援
ありがとうございます

佐賀リハビリテーション病院様 (株)田口電機工業様 母子草様 佐賀市川副町民生児童委員互助会様 佐賀市文化会館様 レストラン志乃空港店様 佐賀ギター音楽院様 アルタ高木瀬店様 TSUTAYA鍋島店様 東洋館様 えんぴつ館様 恵比寿鍼灸整骨院様 団野法律事務所様 進税理士事務所様 アルタ開成店様 サンシャレー様 ホテルニューオータニ佐賀様 サウンド・スピリッツ木原慶吾様 れすとらん志乃県庁店様 三瀬そば様 ふくしま薬局通小路店様 西国御領風羅坊様 菖蒲ご膳様 (株)北島マルボーロ様 みねまつ整骨院様 矢山クリニック様 医療法人輔仁会内野産婦人科様 最所法律事務所様 イエローハットモンテカルロ太陽本庄店&医大通り店様 ようどう館佐賀校様 ようどう館大和校様 川崎自工様 手打ちそばうどん夢心様 天山カントリークラブ北コース様 医療法人北士会北川眼科様 佐賀NOK様 峰公認会計士事務所様 (税)西村会計様 ヘアー&フェイスドゥース様 村岡屋駅南本店様 村岡屋高伝寺様 村岡屋卸本町店様 いっせい麺処様 山小屋ラーメン南佐賀店様 H&M EXCEL W.E.N.S様 EXCELアムール店様 国府団地資源物回収協力会様 麻生外語観光&製菓専門学校ブライダル・ウェディング科様 ファインテニスクラブ様 平尾建築コンサルタント事務所様

コープさが生活協同組合様 佐賀銀行文化財団様 佐賀銀行人事企画部様 コープさが新栄店様 武井電機様 池田内科皮膚科医院様 佐賀県中部保健福祉事務所様 市民活動プラザ様 佐賀大学医学部研究棟様 佐賀県視聴覚ライブラリー様 佐賀県民協働課様 サンテ溝上病院様 北部児童センター様 大塚製薬佐賀工場様 佐賀市立図書館様 佐賀玉屋様 蓮池衛研工業様 JSA中核会佐賀支部様 佐賀県造園協同組合様 第一生命労働組合様 循誘公民館様 オープンオープンKei様 とす市民活動センター

柳川市立矢ヶ部小学校様 佐賀市立諸富南小学校様 佐賀市立鍋島小学校様 武雄市立東川登小学校様 太良町立多良小学校様 佐賀市立東与賀小学校様 神埼市立千代田中部小学校様 佐賀市立昭栄中学校様 佐賀市立城南中学校2年生様 佐賀清和高等学校インターアクト部様 北陵高等学校様 佐賀龍谷高等学校様 佐賀女子高等学校様 佐賀西高等学校ボランティア同好会様 佐賀県立三養基高等学校あすなろ部様 佐賀県立佐賀北高等学校新体操部様 佐賀県立高志館高等学校様 佐賀県立鳥栖商業高等学校様 佐賀県立小城高等学校2年生様 弘堂国際学園様 CODO外語観光専門学校様 佐賀女子短期大学様 ボーイスカウト佐賀第5団様 ボーイスカウト鹿島第1団様
(順不同:2022年9月1日～2022年12月31日)

※ 個人の皆さま方からたくさんのご支援ご協力をいただいておりますが、この欄でのご紹介は学校・企業・団体様等のみにさせていただきます。

募金や使用済切手、使用済インクカートリッジなどの
ご支援、ありがとうございます。





【絵画展の様子】

★ 第6回 SDGs絵で伝えよう『わたしたちの地球』を守る絵画展

* 日時: 10月4日(火)～10月9日(日) 9:00～17:00

【表彰式 10月9日(日) 10:30～11:50】

* 会場: 佐賀県庁 1階 県民ホール

* 主催: 佐賀県ユニセフ協会 * 共催: 佐賀新聞社

【69校からの応募数】

校 種	応募数
小学校	586点
中学校	249点
合 計	835点

◆佐賀県ユニセフ協会主催の「絵で伝えよう！『わたしたちの地球』を守る」絵画展も今回で、6回目を迎えました。

新型コロナ禍の中、ポスターでの募集を行いましたところ、佐賀県内の小・中学校69校から835点もの作品応募がありました。絵画展を主催しました佐賀県ユニセフ協会でも、SDGsについて皆様の関心の高さと取り組みの必要性を強く感じていただいていることに、大きな喜びを感じ、感謝をしています。

◆近年は、官民ともにSDGsについての様々な取り組みも行われていて、一般の方々にも広く周知されてきました。学校現場にも日本ユニセフ協会学校事業部から全国の中学3年生全てにSDGs学習資料が配布されたり、教師向けの「持続可能な開発目標」を伝える先生のためのガイドブックが配布されたりする中で、児童・生徒の皆さんは様々な学習活動や総合的な学習の時間などでSDGsについて主体的に学ばれています。当協会へのSDGs関連の出前授業の依頼も多くなりました。今年も多く作品応募を期待しています。



【表彰式の様子】



【特別賞受賞者 及び 主催者との集合写真 2022. 10. 9】

1. 日本ユニセフ協会会長賞

【金立小学校 4年 金子響さん】



2. 佐賀県ユニセフ協会会長賞

【江北小学校 5年 瀧上莉弓さん】



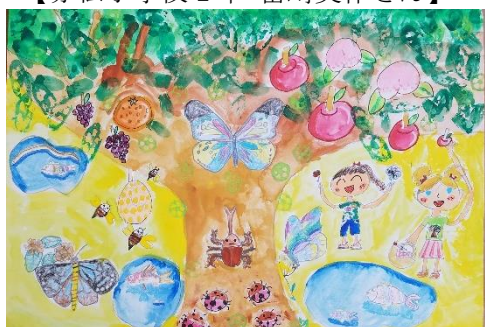
3. 佐賀県ユニセフ協会会長賞

【塩田中学校 3年 杉光美咲さん】



4. 佐賀新聞社賞

【赤松小学校 1年 富崎美怜さん】



5. 佐賀新聞社賞

【芙蓉小学校 5年 江頭咲夏さん】



6. 佐賀新聞社賞

【思斉館中学部 3年 小柳真悠さん】

Hand in Hand



© UNICEF/UN0616758/Dejongh



ハンド・イン・ハンドとは、政治、宗教などに関係なく、「手に手をとって」世界の子どもたちのしあわせと明るい未来を実現させるために、ユニセフの保健、水と衛生、栄養、教育、緊急援助等の事業への支援を通し、「子どもの権利条約」がすべての子どもに守られるよう、一人一人がボランティアとして参加するユニセフ募金活動です。

11月～12月は、ハンド・イン・ハンド募金月間
誰でも参加できるボランティア活動です！

**3年ぶりの
街頭募金活動。**



ハンド・イン・ハンド 2022年のテーマ 最も厳しい状況にある子どもたちの願いをかなえよう ～生きたい！食べたい！学びたい！～

世界の子どもたちを取り巻く状況は、新型コロナウイルスのパンデミックを境に大きく変わりました。紛争、自然災害、貧困、新型コロナ ウイルス感染症などの影響で厳しい状況に置かれた子どもたちが増えています。ユニセフは、すべての子どもの権利を守り、健康で希望に満ちた未来のための支援活動を続けています。

佐賀県ユニセフ協会では、できることから始める第一歩として、3年ぶりに地域の小・中・高等学校、短期大学等の児童・生徒・学生の皆さんを募って、「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」の街頭募金活動を行いました。

3年ぶりに、12月一杯、対面でのハンドインハンド募金活動を行いました。～実績報告～

●ハンド・イン・ハンドの募金総額 ￥2,782,022 円

- ★(ハンド内訳) ◆募金箱設置の店舗様などからの募金・・・ ￥ 235,314円
◆小・中学校、高等学校、専門学校様からの募金・・・ ￥ 67,913円
◆企業・会社、団体、個人様等からの募金・・・ ￥ 2,122,663 円
◆ハンド・イン・ハンド街頭募金活動・・・ ￥ 356,132円

★ハンド・イン・ハンドの協力者数

- ◆協力店舗・事業所数.....50 店舗及び事業所等
◆街頭募金協力学校やボーイスカウトからの協力者・・12校+2ボーイスカウト⇒のべ195人
◆企業・会社、団体、個人様.....3会社+4団体+18個人

*募金をしてくださった皆様
*街頭募金活動に参加してくださった皆様
*募金箱を置いてくださった店舗様
ありがとうございました



● 2022年度 佐賀県ユニセフ協会を通して本部へ送金された 年間募金総額 ￥10,244,418 円 ご支援に心より感謝します。

(内訳) 緊急支援へ *コロナ ￥75,980円、*ウクライナ ￥4,955,953円、*シリア ￥10,000円、*東ティモール ￥713,775円、*アフガン ￥15,000円、*トンガ ￥976,880円、人道支援 ￥10,000円、*ロヒンギヤ ￥10,000円、*アフリカ栄養危機 ￥10,000円、自然災害 ￥10,000円、

通常募金へ ￥576,808円 支援ギフトへ ￥98,000円

ハンド・イン・ハンド募金へ ￥2,782,022円、

2022年度は、ウクライナへの武力侵攻などの紛争や新型コロナ感染拡大や自然災害・干ばつ等による飢餓・貧困など弱者である子ども達にも大きな被害が及びました。その様子はテレビやネットなどで全世界に報道されました。その状況の中、佐賀県ユニセフ協会を通して、今まで以上の募金が寄せられました。(2022年1月～2022年12月)

12/3～12/25まで、11店舗前での「ハンド・イン・ハンド」街頭募金の実際！。



【12/3 ゆめタウン佐賀店(矢ヶ部小)】

【12/3 ゆめタウン佐賀店】
 * 矢ヶ部小学校からは今年も児童や先生方、市役所の職員の皆さん 30名、
 * 鳥栖商業高校 8名、
 * 清和高校生徒 6名、
 * 北陵高校 1名、
 * 佐賀県ユニセフ協会 スタッフ3名 **総勢 48名**



【12/3 ゆめタウン佐賀店(高校生)】



【12/4 フレスポ鳥栖店】

【12/4 フレスポ鳥栖店】
 * 三養基高校あすなろ部から4名参加。フレスポでの男子生徒の参加は、初めてでした。 **総勢 6名**

【12/4 ゆめマート佐賀店】
 * 佐賀西高校 5名
 * 小城高校 2名
 * スタッフ 4名 **総勢 11名**



【12/4 ゆめマート佐賀店】



【12/11 コープさが新栄店】

【12/4 イオン佐賀店・ビバホーム】
 * スタッフ 3名 **総勢3名**

【12/11 コープさが新栄店】
 * 佐賀北高校新体操部 8名
 部活後に参加してくれました。
 * スタッフ 4名 **総勢12名**



【12/4 イオン佐賀店
スーパービバホーム佐賀店】

【12/18 佐賀玉屋】
 * 佐賀大学生 2名
 * 佐賀女子短大生1名
 * 富崎ファミリー 4名
 * スタッフ 3名 **総勢 10名**



【12/18 佐賀玉屋】

【12/18 イオン佐賀大和店】
 * ボーイスカウト佐賀5団 24名
 * 龍谷高校 6名
 * 高志館高校 11名
 * スタッフ 6名 **総勢47名**



【12/18 イオン佐賀大和店
ホームワイド佐賀大和店】

【12/18 モラージュ佐賀店】
 * 城南中2年生 16名
 * 佐賀女子短大生 6名
 * 吉原ファミリー 5名
 * スタッフ5名 **総勢32名**

【12/25 ララベル鹿島店】
 * ボーイスカウト鹿島第1団 15名
 * 佐賀女子短大生3名
 * 長崎・嬉野 5名
 * 西村様2名 **総勢26名**



【12/18 モラージュ佐賀店】



【12/25 ララベル鹿島店】

unwish の仲間たち!

ユニセフ高校生ボランティア 佐賀県立小城高等学校2年生
永田ほのかさん 諸岡ひなたさん 納富樺恋さん 古川遥菜さん
—小城市—



小城高等学校
HPより

佐賀県立小城高等学校の特色 “オンリーワンで未来を拓こう!”

小城高校は120年以上築き上げられた古き良き伝統を持ち、多くの自然に囲まれているなどたくさんの魅力があります。

その中でも1番の特色は「オンリーワン活動」です。

オンリーワン活動とは、「このことは根気強く取り組める」「これだけは自分を誇りに思える」というかけがえのない自分を探りあて、更に知・徳・体の錬磨によって、社会に貢献できる人材を育成する取り組みのことです。

3年間を通して、自分が興味のある学問や職業について調べ、学ぶ意義や働くことについて理解を深めます。また興味・関心のあるテーマについて研究し、高校生の立場で事物を見つめ、調査・研究を通すことで、広い視野と深い知識を身につけます。



(SDGs 目標3のテーマで募金活動に取り組んだ諸岡さん、永田さん、納富さん 担当の服部先生)

3

すべての人に健康と福祉を



4人の皆さんのテーマ

【SDGs目標3】

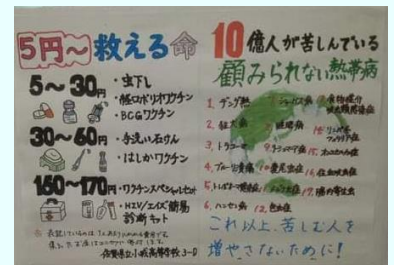
“すべての人に健康と福祉を”

『アフリカで苦しむ子ども達に薬を届けよう!』

3Dグループの4人皆さんは、総合的な学習の時間に【SDGs目標3:すべての人に健康と福祉を】のテーマに関心を持ち、アフリカで熱帯病に苦しむ子ども達に薬を届けようと近隣の商業施設や福祉センターなどで募金活動に取り組みました。

フィールドワークをするにあたっては、初めに、熱帯病に関する説明とワクチンの価格を記した募金箱を作成し、次に、佐賀市の「イオン佐賀大和店」や小城市の「ビッグ三日月店」牛津福祉保健センター「アイル」等での募金活動を実施しました。

4人の皆さんは、「思った以上の募金が集まり驚いた。熱帯病への認知度はまだ低く、これから現状を伝えていきたい」と感想を述べた後、自分たちの成果に大変やりがいを感じたそうです。募金で集めたお金で下記の薬剤を実際に贈られました。



【実際の募金箱の表示】



【実際の募金活動の様子】



【ユニセフへの募金贈呈】

実際に贈られたワクチン 合計¥60,000円分

- *ポリオワクチン 4セット
- *BCG 2セット
- *ワクチンスペシャル2セット
- *はしかワクチン 2セット
- *虫くだし 2セット



ポリオワクチン



はしかワクチン



ワクチンスペシャル

★佐賀県ユニセフ協会にも、最近は高等学校での「総合的な学習の時間」や「探究学習」で事務所を訪問される生徒さんが増えました。若い世代がSDGsに関心を持ち、自分達にできる解決のための取り組みを実施されていることに敬意を表します。

《担当の服部先生からのコメント》

★「自分たちがアクションを起こすことによって、SDGsに貢献することができることを学ぶ大変良い機会となりました。生徒たちには今後も積極的にSDGsに取り組んで欲しいと思っています。」と話してくださいました。

《3Dグループの皆さんのコメント》

★オンリーワン活動の発表を終えてから自分たちの活動のほかにもユニセフの募金活動に参加したり、家族や友人に現状を伝えるなど、自分たちができる活動を続けています。一人一人の力は小さくても、活動を続けることで救える命があることを知りました。

(原稿提供: 永田さん 諸岡さん 納富さん 古川さん 服部先生 取材: 江島きよ子)